

さくらじま

133号

発行:

公益社団法人 鹿児島県社会福祉士会

会長 久留須 直也

鹿児島市鴨池新町1-7 県社会福祉センター内

Tel 099 (213) 4055

Fax 099 (213) 4051

URL:<http://www.minc.ne.jp/~jacsw> E-mail:jacsw@po.minc.ne.jp

新年のごあいさつ



新年あけましておめでとうございます。

県民の皆様、会員の皆様におかれましては、実り多き一年となりますようご祈念申し上げます。

昨年は、社会福祉士が誕生し30年が経過しました。当時と比べ、少子高齢化の進展、人口の減少、社会の変化におけるニーズの多様化など、我々社会福祉士を取り巻く環境は、確実に変化してきております。このようなニーズの多様化が生じている中でソーシャルワーク機能やその役割の重要性も高まってきております。それに伴い、ソーシャルワークを展開する社会福祉士に求められることも多くなっております。

私の会長の任期も残りわずかとなりました。本会主催の県レベルでの研修会の企画や顔の見える会員間の交流の仕組みの構築などを目指し、会員の活動を支えることができる体制を作りたいと思ひ、職務を全うしておりますが、至らない点多々ございます。しかし、改善・整備できることをさらに取り組んでいきたいと思ひます。

会員の皆様にとって、この新しい年がより良き年になるよう心より祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。

2019年1月

公益社団法人 鹿児島県社会福祉士会
会長 久留須 直也

受験対策委員会活動状況

受験対策委員会 委員長 内田 俊成

平成30年度における受験対策委員会の活動状況を報告いたします。

平成30年より介護支援専門員試験受験資格要件が変更となり、国家資格を保有し、かつ、各資格の業務に5年間従事した者、相談援助業務の経験が5年従事する者となります。介護職員初任者研修(ホームヘルパー2級)等の資格を保有し、5年間介護等の業務に従事した者および無資格であるが10年間介護等の業務に従事した者は、資格要件から除外されました。

この影響がみられ、今年の介護支援専門員受験対策講座は申込者30名と昨年の2分の1程度に大きく減少しています。数年前には100名を超える時もありましたが、大きく減少しています。事実、受験書類を受付けている鹿児島県社協担当者より、3分の1程度に大きく減少していると聞き及んでおります。

今後、数年間はこのような状況が推移することが予想されています。急激な人数増が望めないことから、来年度以降の講座内容を、もう一度原点に戻って見直す必要があると考えます。来年度活動計画を立案する本年度末までには具体的な形を作り上げたいと考えています。

一方、社会福祉士受験対策講座の申込者数は、昨年23

名の受講者がいましたが、今年は15名と若干の減少がみられます。

これまでも、国家資格取得を夢見る方を応援し、資格取得の支援・手伝いを行うという目的で活動してきている受験対策委員会です。本年度は、例年からするとちょっと少ない5名のメンバーと事務局職員の方々とが、一致団結・協力して各受験対策講座を裏方として支えています。

介護支援専門員受験対策講座は、9月末をもってすべての予定を滞りなく終了することができました。関係者の皆様方には、遅滞なくスムーズな講座運営ができましたことに、御礼を申し上げたいと思ひます、誠にありがとうございました。この場を借りて日頃の感謝を申し上げます。来年度以降、かなり形を変えての講座内容となりますが、継続したご支援・ご尽力を宜しくお願い致します。

また、社会福祉士受験対策講座は、12月まで毎月1回の講座を予定しております。残り少ない講座がスムーズに運営でき、社会福祉士という我々の仲間が1人でも数多く誕生することを期待致します。

このような受験対策委員会活動に是非とも参加・協力したいと考える本会員の方の積極的な参加を、当委員会メンバー一同心待ちにしております。



ウェビナー研修を終えて

広報委員会 有村 信治

ウェビナー…皆さん、この言葉をご存じでしょうか?インターネット(以下Web)の急速な普及と技術革新により、高速Web回線を利用したテレビ会議システムを利用した研修のことを「Web」と「セミナー」の合成語で「ウェビナー」と言います。

鹿児島県は離島が多く、受講者が1ヶ所の会場に集合して研修を行うことは、他県と比較してもかなりのハンデがあります。そこで、離れた場所をWebで繋いで複数の会場で同時に研修を行えないかと、久留須会長より私に直截相談がありました。

私自身、Web黎明期から関わってきた専門家の端くれでもありましたので、早速、世の中に存在するテレビ会議システムの中から、今回実施した「zoom」システムを提案し、テストを繰り返し、理事や会員にプレゼンテーションを行いながら、研修実施マニュアルを作成しました。

Zoomの長所として①端末機器に表示できるものは、全て受講者と共有可能②端末機器に制限が殆どない(パソコン、タブレット、スマートフォン全てに対応し、端末機器のOSもほぼ全てに対応)③受講者は端末機器とアプリを準備するだけで、個人で登録申請は必要ない④費用は、ホスト役である社会福祉士会が毎月1,500円程度のみで、受講者負担は受講時の通信費用のみ⑤2つの端末機器のみの使用に限り、無料登録で時間無制限にほぼ全ての機能の使用が可能なので、無料で実験検証が可能⑥記録はホストパソコンに動画として記録されるので、研修そのものがビデオ研修素材になる。

短所としては、①高速Web回線が必須②ホスト側のパソコンの操作が多忙である③参加者個人ごとに端末機器を持つことを前提としている④参加者で共有化するモノ(…) (スライドはもとより、カメラ画像や音声も含む)は、全て電子情報として端末機器を経由しなければならない。

解決に必要な最大の問題は、短所の③と④でした。いきなり、「受講者にWeb用の端末機器を準備し、通信料は自分持ちで、操作も受講者自身で勉強して参加してください。」と最初から取り組むには無理があるので、まずは1会場1端末機器で配置し、画面や音は来場した受講者で分け合うことにしました。こうすると、受講者に意見を求めたりする場合は、1本のマイクを渡し合い、カメラを都度発言者に向ける必要があります。また、グループワーク等で、ホワイトボードを使用し小さな字で情報提供やまとめ記事を記載しても、カメラを通じて全面を読み取ることは不可能です。

今回の研修でも、この不安は的中しました。グループワーク研修で、事例の情報を事細かにホワイトボード2枚にびっしりと細かい文字で書き始めたのです。また、ホスト側の鹿児島市内の会場では情報交換が盛り上がり、講師がマ

イクを持ったまま受講生と意見交換を始めました。奄美会場では、マイクを通した声しか聞こえませんが、受講生の質問内容は聞こえず、講師の回答のみが聞こえていたはずでした。

とっさの対応として、事務局にホワイトボードをカメラ撮影してメールで送るよう依頼し、講師には、受講生の質問内容を反復してから回答を述べるよう依頼しました。せっかくの盛り上がりにも水を差した形にはなりませんが、幸いなことに奄美会場に参加された3名の受講者は、比較的冷静に対応していただき、後半は自ら進んで意見を述べてくださるようになり、鹿児島市内の受講生は、意見を述べる時などカメラの前に立ち、マイクを持って発言していただき、第1回目の実験的研修としては収穫の多い研修だったと満足しました。

さあ、とりあえず実践実験は終了しました。今回のビデオ記録も参考にして問題点を検証・対策し、数百キロの距離をハンデとしない研修に多くの会員が参加することにさらに努力を重ねる所存です。



初任者研修会感想

大島地区支部事務局 川畑 博行

船で11時間かけて鹿児島市まで行かなければ参加できなかった研修が、インターネットを通して奄美の地にいなながらも受講できたことが嬉しかった。eランニングとも違って、複数で対話を交わしながら聞くことができたので集中を継続することができた(一人なら途中で挫折していた)のも良かった。講義の内容も丁寧で参加者(画面の向こうにも)へも配慮して作成して頂いていたので、日々の業務及び社会福祉士としての自問のヒントも得られてありがたく思いました。

初めて初任者研修が奄美で開催されました!!

大島地区支部事務局 西牟田 智子

鹿児島市内からのWEB中継でしたが、奄美からもリアルタイムで質問したり、グループワークなどに参加できとても有意義でした。

私は研修運営のお手伝いとして参加しましたが、会場には大きな画面でクリアな音声の設備があり負担なく過ごせる環境でとても満足でした。

少し残念だったのは参加者が少なかったこと…次回以降たくさんの方に参加いただけるようお声がけしていきたいです。

南薩地区支部研修会に参加して

南さつま市有馬病院
地域医療連携室 住吉 宰幸

平成30年8月25日(土)に南薩地区支部第1回研修会に参加し、メンタルケア研究会・コラソンの臨床心理士 千石久美子先生による「対人援助職のストレスマネジメント」と題された講演をお聴きました。

私は南さつま市の有馬病院(一般病棟36床、地域包括ケア病棟24床)で医療ソーシャルワーカーとして平成29年4月から地域医療連携室に所属し、入退院支援や医療福祉相談業務を行っています。それまでは、高齢者グループホームや居宅介護支援事業所にて働いていました。当院の地域包括ケア病棟は、平成29年8月に開設し「地域市民の安全で良質な医療を提供し、疾患の治療と障害の克服はもとより、健康増進をも願ひとして、職員一丸となって努めていきます」という理念を掲げております。また現在、病院建て替え、社会福祉法人では有料老人ホーム開設、グループホーム移転などの準備中です。

家庭では、3歳の娘と1歳の息子の父親として子育てに苦戦しており、また夫婦共働きなので妻に愛想を尽かされないように積極的に家事に参加するようにしています。

独身の時やまだ妻と二人だけの生活だった時は、趣味や友人達と遊んだりしながらストレス発散できていましたが、今は自分の時間を作ることも難しく仕事や家庭でのストレスを発散できていない状況でした。そんな中で今回の研修に参加させて頂きストレスマネジメントを学ぶことができました。

ストレスの大半は人間関係とのことで、対人援助職の私たちは常にストレスにさらされている状態です。ストレスマネジメントの方法としてストレスを拾わないこと、入ってきてももの見方を変えることと二つの方法(①ストレスを拾わないようにするには、ちょっとしたことでも喜べるようにご機嫌ハードルを下げ、ちょっとしたことでイライラしないように不機嫌ハードルを上げること。自分の期限を他者や出来事任せにするのではなく自身の機嫌は自分で取る。②もの見方の変え方としては、出来事の枠組みを変えるリフレーミングを利用すること)を学びました。

私は人前で話すのは苦手な、特に研修会等で大勢の前で発表などすることを苦痛(ストレス)に感じていました。なんでストレスなんだろうと今まで悩んでいましたが、今回の研修に参加することで原因がわかったような気がします。それは、私の基準が外にあったから、相手からよく思われたいと思い、相手の評価を気にしていたからだと思えました。つまり、自分自身の心の問題でストレスを作っていたのです。今回、研修会のこの感想文は相手の評価を気にすることなく書かせて頂きましたので、ストレスなく書くことができました。いつもの私なら悩みに悩んでどうしたらよく書けるだろうかとストレスに感じていたかもしれません。この研修会は今後の私の人生に役に立つと感じました。講師の先生、研修会を企画して下さいました南薩世話人の方、本当に素晴らしい研修会に参加させて頂きありがとうございました。



新入会員自己紹介

①内村 英行 会員

- ⑤母親の介護を通じて福祉領域の仕事に興味を持ち、通信教育で受験資格をとりました。
お陰様で昨年取得することができました。新米です。よろしくお願いいたします。
- ⑥行政経験(市役所)を活かし、地域住民に権利擁護の必要な方のお役に立てればと願っています。

①西 真人 会員

- ②株式会社インビクト
- ③障害者就労支援 サービス管理責任者
- ④障害や病気を持っている方が通所しているいろいろな仕事(植物・雑貨販売に伴う業務、事務、リサイクル業務等)に取り組みます。その中で、利用者がただ仕事をするだけでなく、それを通して充実感や自己肯定感、安心感を得、自己実現に向けた生活を送れるよう、寄り添い続ける支援が仕事です。
- ⑤大学時代は「取れる資格があるなら単位は取っておこう」くらいの感覚でした。なので卒業時国家試験は不合格。5年後に合格しましたが資格を取っただけ。何も社会福祉士らしいことはせず…。今年度社会福祉士会に入会したのは、今後自分の目指したい社会福祉士像を模索しながら創っていくのが、目的かつ目指すべきことかもしれません。
- ⑥横のつながりをもっとたくさん作る。障害者支援の魅力を色々な方に伝えていく。

①橋口 弘子 会員

- ②社会福祉法人たんぽぽ会 居宅支援センターおきがる
- ③介護職員
- ④訪問居宅支援、高齢者デイサービス
- ⑤40年前に日本福祉大学Ⅱ部を卒業後、月日が経ち、その間の福祉の流れ・変化を学び直したいと思いました。
- ⑥人生100年時代に入り、残りの人生を周りの方々に役立てるよう研鑽に励んでいきたいと思っております。よろしくご指導下さいませ。

①永留 なつ子 会員

- ⑤父が脳出血で倒れた後、身体障害者手帳を取得。その後、父の成年後見人になりました。もっと福祉の制度など勉強したいと思いました。
- ⑥身近な地域の中で、困っている方々の支援ができればいいと思います。

①中村 輝美 会員

- ②病院 ③MSW
- ④入退院調整、介護保険関係の申請代行、在宅支援、医療・福祉相談
- ⑤ケアマネとしてのスキルアップを図るため
- ⑥医療・高齢者等の知識を深めるとともに、成年後見制度、母子支援についても勉強していきたいと考えています。

①恵沢 岩生 会員

- ②特定非営利活動法人みどり厚生事業所
- ③認知症カフェ相談員、補装具製作部主任
- ④認知症や介護など、日常生活上援助が必要な本人や家族の福祉相談。身体に不自由を感じる方の補装具相談および補装具製作業務。
- ⑤元々は義肢装具士として義肢製作所で約30年働いていたが、2年前に会社を福祉NPOにしたのをきっかけに、地域福祉に幅広く貢献したいとの思いから社会福祉士を目指すことにした。
- ⑥9月に認知症カフェ馬小屋を立ち上げることができ、認知症で困っている方の相談窓口として、中身を一層充実させていきたい

①名前 ②勤め先 ③職種 ④仕事内容

⑤社会福祉士を目指したきっかけ ⑥今後の目標や抱負

と考えています。今後は、障がい者の就労支援事業も行う予定です。県社会福祉士会の皆様のご来店とご指導宜しくお願いいたします。

①日高 圭子 会員

- ②社会福祉法人暁星会 相談支援センターやくしま
- ③相談支援専門員
- ④指定計画相談支援・指定障害児支援
- ⑤福祉事務所で家庭相談員として7年7か月勤めました。家庭に寄り添う家庭相談員の仕事をしていた、もしかしたらこういった仕事は私に適しているかもしれないと思うようになりました。もともと大学では建築学を学びましたので、相談者にとっては頼りない相談員であったことでしょう。相談業務を全うするなら社会福祉士を目指そうと思うようになり、受験勉強を始め、おととし3月に社会福祉士、昨年3月に精神保健福祉士と2年続けてパスすることができました。
- ⑥社会資源の少ない屋久島で、自分自身が社会資源との思いで相談者に寄り添っていきたくと考えています。

①川口 遼 会員

- ②公益財団法人地慈愛会 奄美病院 ③精神保健福祉士
- ④入院時アナムネ、社会資源の紹介・案内・調整、退院時カンファ、退院前訪問看護、各種サービス申請
- ⑤元々人の相談を聞くことも多く、人の役に立てる職業は何があるかな?と探していた時、大学のパンフレットで「社会福祉士」という職業を知りました。そこで、知らなかった職業でもあったため、興味を持ち勉強を始めました。
- ⑥社会福祉士、精神保健福祉士の資格を活かしながら、さらにスキルアップを目指し、患者様や利用者様に寄り添える福祉職の一員になりたいです。

①永山 陽平 会員

- ③介護支援専門員
- ④特別養護老人ホームの生活相談員等を経て、現在は居宅介護支援事業所で介護支援専門員をしております。
- ⑤福祉の仕事に就こうと思ったきっかけは些細なことでしたが、福祉について学ぶ中でそのやりがいを感じ、資格取得を目指しました。
- ⑥様々な方の支援をさせていただく中で、「社会福祉士として何ができるのか」「社会福祉士としての強みは何か」模索することも多いです。今回、自己研鑽の機会を求めて社会福祉士会に入会しました。皆様との関わりを通して、社会福祉士として、人間として成長出来たらと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

①岸本 由美 会員

- ⑤曾祖母を在宅で看取ったことが福祉を目指そうと思ったきっかけだと思っています。まだ幼い頃の記憶ですが、それが自分の中の基盤になっている気がします。
- ⑥いろいろな方面に目が向けられる社会福祉士になりたいです。まだ制度として守られない人の力に少しでもなれる、それに気づける力を身につけて寄り添っていける、なんでも話してもらえ人になることが目標です。

①中迫 文子 会員

- ⑤大学生の時に障がいをもつ子どもさんと触れ合う機会をもち、いろいろなことを学ぶことができた。子育ても一段落し、もう一度福祉に携わりたいと思い資格を取ることにした。
- ⑥自分が携わりたいと思う福祉活動を頑張りたいと思う。